



新城市は、愛知県東部に位置し、新城市、鳳来町、作手村の新設合併によって平成十七年十月に誕生しました。

同市の主な観光資源は、桜淵公園や霊鳥仏法僧（コノハズク）の棲む鳳来寺山などが名勝地とされています。

◆新東名

平成二十八年二月十三日、浜松いなさJCTから豊田東JCT迄が開通し、新城市では地域活性化に向けた新たな取り組みが始まりました。



◆長篠設楽原PA

長篠と言えば、天正三年（一五七五年）武田勝頼軍一万五千人と織田・徳川連合軍三万八千人の決戦場と知られ、武田軍が一万二千人、連合軍が五千人を失い、武田軍が撤退した歴史があり、これを活かしたPRが本格化しています。



長篠設楽原PAは、戦国時代に関連したグッズ類の展示販売がメインとなっています。その特徴は、合戦当時の歴史を知る模造品（火縄銃、刀類）の展示販売や馬防柵等の設置があり、売店では歩兵隊の衣装を着た店員がファーストフード類の販売も行っています。



馬防柵

新城市では、新東名の開通に伴うI・C・PAの設置による一般観光客の集客とその経済効果を期待した事業が新たに加わり、戦国時代の造詣に係なく、是非一度ご覧になることをお勧めいたします。

◆アクセス

【新東名】 新城ICから下り車線を走行し約一分。

【一般道】 新城市役所から市道を走行し約四キロメートルで外部専用駐車場に乗り入れ可能。

【鉄道】 JR新城駅前からタクシーを利用し、約八分程で到着。